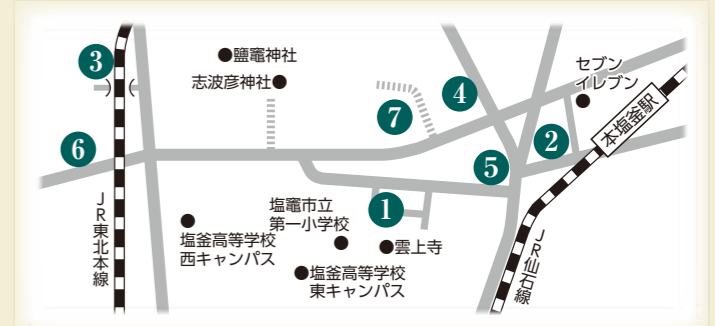


しおがまを みてもみよう



しおがまししゅつしん ざいじゅう が か つりふね ふ き こ し
 塩竈市出身・在住の画家 釣舟富紀子さんを知っていますか。釣舟さんの描く作品
 は、私たちが暮らす塩竈が描かれていることは分かるのに、過去なのか現実なのか
 未来なのか、なんだか知らない世界の塩竈のように感じます。
 つりふね さくひん しおがま み
 釣舟さんの作品から、もっと塩竈を見てみませんか。



①旧公民館裏 (本町)

しおがまし すぎむらじゅんびじゅつかん こうみんかんもともち
 塩竈市杉村悖美術館・公民館本町
 分室横の小道をモチーフに描かれて
 います。塩竈には、このような小道
 や坂道がたくさんあります。ほかに
 も、海や島、神社の鳥居、御座船の
 鳳凰丸のような鳥など、釣舟さんが
 描く作品には、たくさんの塩竈らし
 い部分が散りばめられています。
 お母さんやお父さん、おじいちゃ
 んやおばあちゃん、年代の異なる人
 たちと話してみると、あなたが知ら
 ない塩竈を知ることができるかもし
 れません。



②やみ市 (海岸通)

しおがま かいがんどおり
 「塩竈海岸中央鮮魚市場」(通称「闇市」)がモチーフ
 の作品です。闇市は、海岸通にありました。
 東日本大震災の津波で被災し、現在は、食を中心とし
 た商業施設「直会横丁」になっています。昔は、このよ
 うな個人店がぎゅっと並び、市場のようになっていたと
 いう様子が描かれています。



③浪切不動尊 (権現堂)

なみ きり ふ どうそん ごんげんどう
 権現堂にある浪切不動尊に向かう隧道が描かれていま
 す。鳥居と隧道は、赤坂交差点から利府方面に向かう途
 中、左手側に見えます。見たことがあるけど、行ったこ
 とがない人も多いのではないのでしょうか。
 鳥居の下には、カナヘビが描かれています。よく見る
 と、色々な動物が他の絵にも描かれていますよ。



作者インタビュー

まちの細かい部分を見て、感じて、想像する 地域のことを考えるきっかけになれば

わたしは、よく古い道を描きます。古ければ良いというわけではなく、
 その道が新しくなる過程を感じながら描いています。例えば、古い
 道に災害対策でさまざまな構造物ができる時、まちの方々の工夫
 が反映されています。そういう良い町にしていこうという、住んで
 いる人たちの試行錯誤を、実際に歩きながら感じています。
 どんどころに皆さんが興味をもてるものがあるか分かりません。
 まちの成り立ちや、どんなお店があるとか、そこでどんな人が働い
 ているとか、いろんなものを見回しながら生活すると、いろんな発
 見ができて、日々楽しくなると思いますよ。



▲権現堂の軒並み⑥
 ▲亀井邸越しの旧公民館分室⑦

つりふね ふ き こ
 釣舟 富紀子さん
 が か
 画家
 だいいちしょうがっこう だいいちちゅうがっこう そつぎょうせい
 第一小学校、第一中学校の卒業生。
 し ない ふうけい けんぞうぶつ
 市内の風景や建造物などをモチーフに、
 ファンタジー描写を加えたアクリル画を
 描く。日本画材では、実在の古い建造物
 を中心にした絵を描く。第14回東北の
 建築を描く展では「亀井邸越しの旧公民
 館分室」で大賞受賞。虫 (特にクモ) が
 好き。虫を探しているときの視点や経験
 が反映されている作品も多い。



④勝画楼 (宮町)

しょうがろう みやまち
 塩竈市有形文化財「勝画楼 (法連寺跡)」が描かれて
 います。昔の写真や「料亭として使われていた勝画楼は
 とともにぎわっていた」という記録が反映されています。
 ほかに、作品中央に描かれた石造の建物は何なのか、
 勝画楼のそばに描かれた灯台がなぜ描かれているのかを、
 調べてみると新しい発見があるかもしれません。



⑤本町商店街 (本町)

もとまちしょうてんがい もともち
 漁火商店街という架空の商店街が描かれています。
 よく見てみると、女の子が着ている体操服は第一中学校
 の青地に赤白ラインの入った体操服に、背景の一番高い
 建物は市役所番館庁舎に似ています。
 そのほかにも、釣舟さんの絵には、さまざまな仕掛け
 があり、塩竈らしい部分を見つけることができます。